令和７年度　第１回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日　時：令和７年５月３０日（金）１４：００～１４：４０
会　場：苫小牧市役所５階　第２応接室

出席委員：坂井会長、松原副会長、居島委員、川山委員、佐竹委員、
中川委員、南(史)委員　　計７名
欠席委員：中田委員、南(正)委員、宮川委員　　計３名
事 務 局：金澤市長
教育委員会　園田教育部長
生涯学習課　田中課長、斉藤課長補佐、大垣主査、大森主事

開会　　（進行）生涯学習課　田中課長
１　市長挨拶
２　第３次苫小牧市民文化芸術振興推進計画策定に係る諮問
３　会長挨拶
４　議事　　（進行）苫小牧市民文化芸術審議会　坂井会長

（１）第２次苫小牧市民文化芸術振興推進計画について（アンケート結果報告）
１月に行った「苫小牧市文化芸術に関するアンケート」の結果について、事務局より報告。

＜質疑＞
会長　　ありがとうございます。
ただ今の説明について委員の皆様のご意見を伺います。
何かございませんか？
この演劇、メディア芸能の回答が０だったって、何か要因あるんでしょうか。
事務局　　配布したものは自由回答をお願いしたところですので、要因につきましては把握していません。

（２）第３次苫小牧市民文化芸術振興推進計画策定について
計画策定の進め方と概要について、事務局より説明。

＜質疑＞
会長　　はい、ありがとうございます。

ただ今の説明について、委員の皆さんの意見を伺います。

副会長　この推進計画第１次と第２次を、私は少し携わっていた時期がございまして。ちょっとご質問っていうか要望というのかな。第３次に向けては、２次計画の中をもうちょっとスリム化をして、また要点をわかりやすいようにやるっていうのがよろしいんじゃないかなって思っていました。それともう一つ、令和８年度からまた１０年間とういのも、もう少し短くしてですね、あの全国的に…若干調べてみましたら５年っていうところもあったって聞いていますので、その辺も、１０年もやらなくても短めにして、坦々と対応していったほうがいいんじゃないかなって思うんですけど。それについて何かそちらで考えていることがありませんか。

課長補佐　ただ今のご質問ですけれども、この第２次計画については１０年計画という形になっていまして、この間コロナっていうのが一番大きいところだったかと思うんですけれども、第３次計画においては、時代の変化とかに合わせて対応していけるような年数っていうところで、５年にしてはいかがかなと考えておりますけれども。その辺も含めてご検討いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

会長　５年という話がありましたけれども、それについてご意見ございますか。

委員　１次計画は１０年で、２次計画も１０年。当然３次計画も１０年なのかなと考えてきたわけですけれども。他都市、地域の状況なんかも踏まえて５年なのか３年なのか期間を短縮するっていうのはいいのかなって思うんですけれども。まず２次計画の達成状況の検証からスタートすると思うのですが、この２次計画の達成状況っていうのはどういう風に検証していくのか教えていただきたい。市長の公約みたいな進捗率、達成率何パーセントとかって出せる感じのものじゃないですよね。どちらかというとこの冊子も理念的な要素の強い計画で。具体的にできた、できないとかいう指標みたいなのが分かりにくいと思うんです。達成状況の検証の仕方…未達成の項目はこういうので、理由はこうだねって明示するくらいかなって考えたんですけど、これまでの１次計画の検証をこういう風にやったっていうのも含めて説明をいただけますか。

会長　事務局お願いします。

事務局　第２次計画はそれぞれの項目につきまして、対応する取組事業が設定され、現在各課に、過去５年なり１０年なりのスパンでどのように実施してこられたか質問をしているところです。参加者を指標としているのであれば、増加していれば評価は高いですといった回答

となります。最終的には、各課の評価、取組状況、取組できなかった理由などを、次回の第３次計画に継続するのか、達成したから削除とするのか…の資料を６月中には皆さんのところにお届けしまして、継続・変更・削除などを皆さんにも評価していただく。継続にならない項目については、本当に削除でいいのかといった審議を７月に行わせていただこうかと考えております。

委員　基本的には継続性が求められるもので、達成できたからなくしてもいいんじゃないかとか、できてなかったものはこういった理由でできていなかったので、こういうことを取組もうとか。こういったものを盛り込んだりってかんじで、２次計画を何点とか点数をつけるのではなく、整理していくと。わかりました。

会長　他にご意見ございませんか。

松原さん、さきほどの第２次のスリム化ってところお願いします。

副会長　具体的にここっていうのはまだこれからのことかと思うんですけれども。大きなものが結構多くなっています。ちょっと忘れたんですけど、今から何年か前に計画の中から一つ一つ出して、進捗度っていうか今これやっているのか、達成しているのかをやった気がするんですよね。そういうときに今言ったみたく、達成しているならはずすか、継続するのか、いろんなことが考えられると思うので、そういうのを３次計画の中で考えていただいて、一つ一つ考えて、絞っていくっていう風にできたらいいんじゃないかなって思うんですけれども。あとは皆さんとやらなきゃいけないので。

会長　ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

委員　先ほど計画１０年ではなく５年ではいかがかってご意見ありましたけれども、この４～５年、１０年って、ものすごく社会が変化したように思うんですよね。なので、５年で私はいいんじゃないかなって思っております。それから１０年前から文化振興っていうんですか。あまり個人としては身近に感じておりませんけれども。先日千歳の人から「苫小牧は文化が盛んだよね」って言われたんですよね。私びっくりしました。はじめて言われましたので。それでこの審議会に参加させていただいてわかりましたけれども、音楽はやはり活発だなと感じました。以上ですけれども、期間については５年でいいかなって思います。

会長　ありがとうございます。他にご意見ございますか。

６月に出てくるんですよね。その中で、絞るなら絞って。期間についても５年にしても…ここで決めなくてもいいんですよね。これからの審議で考えていきたいと思います。

他にご意見ございますか。

委員　　千歳とか恵庭とか、ほかの自治体で同じような計画を１０年ないし５年で作って、芸術文化の振興政策を進めているんでしょうか。

事務局　　あくまでホームページでの確認ですが、道内の市町村をお調べしたところですと、札幌市・釧路市は５年、小樽市・登別市は１０年、旭川市は１２年と長めのスパンで行っているようです。函館市は芸術推進方針、千歳・室蘭・帯広などは総合計画などで取組まれ、単独の計画はないように見受けられました。

（３）その他

次回の審議会は７月２４日（木）開催予定の旨、事務局より説明。

閉会　１４時４０分